

平成29年度
浜松工業会

浜松支部総会

平成29年5月13日(土)

.....
総 会：プレスタワー 17階 静岡新聞ホール
記念講演会：プレスタワー 17階 静岡新聞ホール
懇親パーティー：プレスタワー 7階 静岡新聞ミーティングルーム

浜松工業会 浜松支部

浜松支部総会 行事一覧

日	時	平成 29 年 5 月 13 日 (土曜日)		
受	付	14:00		
総	会	14:50 ~ 15:50	プレスタワー 17 階	静岡新聞ホール
記	念	16:00 ~ 17:40	プレスタワー 17 階	静岡新聞ホール
懇	親	18:00 ~ 20:00	プレスタワー 7 階	静岡新聞ミーティングルーム

総会次第

14:50 ~ 15:50 プレスタワー 17 階 静岡新聞ホール

1. 開会の辞 藤田 俊幸
2. 支部長挨拶 井辺 博光
3. 来賓挨拶
浜松工業会会長 中村 保 様
静岡大学工学部長 川田 善正 様
静岡大学情報学部長 近藤 真 様
静岡大学電子工学研究所長 三村 秀典 様
4. 議事 議長 井辺 博光
第 1 号議案 平成 28 年度事業報告 赤堀 伸二
第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告 高橋 優介
同監査報告 浅井 仁
第 3 号議案 平成 29 年度事業計画 赤堀 伸二
第 4 号議案 平成 29 年度予算 高橋 優介
第 5 号議案 浜松支部会則の改正と追記 井辺 博光
第 6 号議案 役員交代について 井辺 博光
5. 新副支部長紹介 藤田 俊幸
6. 新副支部長挨拶
7. 閉会の辞 藤田 俊幸

第1号議案 平成28年度 事業報告

スローガン「深めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」を深化させると共に、「より広い世代間の交流」、「会員・在学生への活動周知と参加機会の提供」に取組み、概ね目標を達成しました。

1. 総務委員会

藤田総務委員長

- ① 諸会議
役員会
委員会
顧問会議
正副支部長会
浜松支部の活動に、大学側の諸情報を絡めて、互いに協力できる環境を整備しました。
第1回は目標の60名に対し44名、第2回は直前に配布会を催し、41名の参加を得ました。
現役学生から人員を募ったことで、活動が実体化し、幅も広がりました。
事業および収支決算の報告、事業計画(案)および予算(案)他、指導と助言を頂きました。
役員会、顧問会議の準備の他、会員交流を図る活動の準備等で適宜開催しました。
- ② 渉外
支部間交流の為、正副支部長が東京・静岡・愛知・阪奈和支部総会に参加しました。
- ③ UT相談室
登録企業の目標5社増に対し4社増。1名の再就職が決まりました。
- ④ 結婚相談室
1組が成立、4組が交際中。チラシを作成し、HPと合わせて会員を募集しました。
- ⑤ 趣味の会
4団体各々で活発な活動を推進。新たに佐鳴クッキングクラブが発足しました。
- ⑥ (公財)浜松科学技術研究振興会
大学と地域社会の交流を促すため、4支部の講演会を支援しました。
- ⑦ 浜松支部総会
総会を平成28年5月21日(土)にプレスタワー17階、静岡新聞ホールで開催しました。

2. 組織委員会

赤堀組織委員長

- ① 名簿メンテナンス
退職者、勤務先、個人住所等の情報を更新し、退職者については個人会員へ移行を行うなど継続的に名簿をメンテナンスしました。会費納入、テクノピア配布、イベント参加等の情報を一元管理できる名簿DBとし、支部活動の支援ツールとして活用しました。
- ② 組織強化
名簿DBによる分析・声かけを行い、支部活動への参加企業数が63社になりました。
幹事不在の4企業から企業幹事を再選出、また新規の企業を2社選出しました。
- ③ 会報Technopia配布
企業幹事の支部活動参加の機会として、第70号は全体配布会を開催し、第71号は執行役員による個人会員分の配布会と企業会員分の全体配布会の2回に分けて、実施しました。
封筒のデザインを採用したクリアファイルを作成してイベント時に配布しました。
- ④ 懇親パーティー券の販売
前年同様の配布のほか、企業会員の同期生及び同窓生や若手会員への呼びかけを行いました。
販売枚数は目標の220枚に対して176枚でしたが、若手会員の参加を増やすことができました。
- ⑤ 改選役員候補者の選考
正副支部長による選考委員会を開き、支部長及び副支部長組織委員長の候補者を選考しました。

3. 事業委員会

角野事業委員長

- ① 支部総会講演会
東京大学大学院教授 須藤修氏を講師に迎え、最先端の興味深い話題をわかりやすくユーモアを交えて講演いただき、非常に好評でした。
- ② 支部総会懇親パーティー
交通の便を考慮して浜松駅プレスタワー21世紀倶楽部で開催しました。20歳代を無料で招待し参加者増を目指した結果、目標の200名には届きませんでしたが、前年の141名から180名に増加しました。
- ③ 佐鳴湖駅伝大会
浜松支部から「スズキチーム」「ヤマハ発動機チーム」および「浜松支部混成チーム」の3チームが参加し、3チームとも完走。産学で楽しい時間を過ごすことができました。
- ④ 交流会
若い世代の同窓生に対し、浜松支部活動への理解を深めて、協力をお願いするために企画しました。
昨年度は2回開催し、留学生を含め国際的な交流もでき、9月からは情報学部学生の協力でイベント企画担当、情報技術サポート担当の選任につながりました。
- ⑤ 役員新年会
昨年より2名増の52名が参加。昨年好評であった生演奏も継続して企画しました。華やかな宴になり会員同士の親睦が深まりました。
- ⑥ 趣味の会
(佐鳴クッキングクラブ)
若い会員・女性会員の交流の場として、新しい趣味の会「佐鳴クッキングクラブ」を立ち上げました。学生も事業委員として立ち上げに参加し、2/11に1回目を開催しました。

4. 広報委員会

西村広報委員長

- ① Web事業
支部の活動をタイムリーにホームページで紹介し情報発信を推進しました。役員の記事投稿スキル向上のため勉強会を開催しました。Web会員数が122人から141人に増加しました。
- ② 会報Technopia発行
第70号、第71号をB5サイズ・フルカラー12ページで各5,000部発行しました。
大学側、本部と連携して大学関連記事を掲載し、母校への関心高揚と支援促進を呼びかけました。
第71号では、HPへの誘導の新たな試みとして関連HPのurlをQRコードで掲載しました。
- ③ 広告掲載
契約中の15社の契約更新に加え新たに2社との契約を締結し、広告主が17社に増加しました。

5. 会費委員会

高橋会費委員長

- ① 会費徴収
前年度の会費納入実績調査(個人会員の年代別納入率、企業会員の在籍人員数に対する納入人員数など)に基づいた会費納入額増加の対策を講じた結果、会費収入は、2,081,210円となり、対前年9.7%の増加となりました。高齢者会員の会費免除を検討しましたが、年齢別納入状況、来年度の予算収支見込み等を踏まえ、実施は見送ることとしました。
- ② 事業別予算
役員会、正副支部長会にて定期的に収支予測を行い、収入および支出を項目毎に精査、管理しました。
その結果として単年度会計収支の黒字化(約67万円)を確保しました。

第2号議案 平成28年度 収支決算報告 (平成28年4月1日~平成29年3月31日)

平成29年3月31日現在

●収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	説明
支部年会費	1,992,000	2,081,210	89,210	1,500円×1,388人(手数料差引振込あり)
支部交付金	1,175,000	1,175,725	725	協賛金(浜松工業会、浜松科学技術研究振興会他)
パーティー券	1,320,000	1,049,000	-271,000	6,000円×153人+3,000円×2人+5,000円×25人
会報告代	310,000	405,000	95,000	掲載企業数:17社
預金利子他	200	2	-198	普通預金
交流会会費	450,000	420,000	-30,000	交流会、新年会
雑収入	0	0	0	
小計	5,247,200	5,130,937	-116,263	
前年度繰越金	4,949,941	4,949,941	0	
合計	10,197,141	10,080,878	-116,263	

(支部年会費決算額には、H27年度以前分39,000円、H29年度以降分252,000円を含む)

(パーティー券決算額には、H29年度分125,000円を含む)

●支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	説明
総会費	1,600,000	1,234,931	-365,069	総会、パーティー、記念講演他
テクノピア関係費	580,000	662,996	82,996	第70、71号の編集、印刷、運送
HP関係費	400,000	199,380	-200,620	HP運用、サーバレンタル他
委員会活動費	550,000	545,526	-4,474	各委員会の会議費他
会議費	365,000	397,610	32,610	役員会、正副支部長会、顧問会議
交流会費用	750,000	773,418	23,418	交流会、新年会
通信費	15,000	12,507	-2,493	会費納入依頼文の印刷、各種連絡
旅費・交通費	162,000	72,660	-89,340	他支部総会出席
慶弔費	10,000	0	-10,000	慶弔規定による支出
払込手数料	20,000	26,844	6,844	郵便振込手数料
雑費	120,000	214,007	94,007	駅伝大会賞金、事務用品、クリアファイル他
備品購入費	200,000	319,287	119,287	パソコン(事業委員会・広報委員会)、スクリーン他
予備費	30,000	0	-30,000	
小計	4,802,000	4,459,166	-342,834	
次年度繰越金	5,395,141	5,621,712	226,571	
合計	10,197,141	10,080,878	-116,263	

●財産目録

671,771 (年度差額)

普通預金	静岡銀行	988,576
郵便振替口座	郵便局名古屋	2,479,486
郵便定期貯金	三方原郵便局	2,000,000
郵便普通貯金	三方原郵便局	106,042
現金		47,608
合計		5,621,712

上記の通りご報告致します。

副支部長 会費委員長

高橋 優介 ㊟

平成28年度収支決算について、関係書類を監査した結果、

いずれも正確かつ適正であったことを認めます。

平成29年4月6日

監事

西尾 國夫 ㊟

監事

浅井 仁 ㊟

第3号議案 平成29年度 事業計画(案)

引き続き同じスローガン「深めよう！同窓の絆 強めよう母校への関心」を深化させます。
「より広い世代間の交流」、「会員・在学生への活動周知と参加機会の提供」を支援・促進します。

1. 総務委員会

藤田総務委員長

- 活動方針 浜松支部の活動に、大学側の諸情報を絡めて、互いに協力できる環境を整えます。
- ① 諸会議 幅広い世代の役員が関心を持ち、積極的に参加したくなる環境を準備します。
- 役員会 前年度振り返りと次年度計画で春に1回開催し、中間報告等で秋に1回開催します。参加者60名を目指します。
- 委員会 協力者をさらに募り、現役学生も含めた活動で実体化を進めます。
- 顧問会議 事業および収支決算の報告、事業計画(案)および予算(案)、年間行事(案)、浜松支部の会則の改正などについて、指導と助言を頂きます。
- 正副支部長会 役員会と顧問会議の準備に年3回、その他支部活動の活性化のため適宜開催します。
- ② 渉外 他支部(静岡・愛知・東京・阪奈和) 総会へ参加し、情報交換に努めます。
- ③ UT相談室 HPのリニューアルを推進します。登録企業の拡大およびインターンシップのサポートを進めます。
- ④ 結婚相談室 チラシとHPで認知度を高め、登録者数を増やし、ニューカップルの誕生を目指します。
- ⑤ 趣味の会 既存の趣味の会の活動を支援し、設立まもない佐鳴クッキングクラブにはより一層の支援をします。
- ⑥ (公財)浜松科学技術研究振興会 財団の運営に協力します。
- ⑦ 浜松支部総会 総会を平成29年5月13日(土)にプレスターで開催します。

2. 組織委員会

赤堀組織委員長

- 活動方針 企業幹事および会員の支部活動への参加機会を促進して、意識向上と浜松支部の組織を強化します。
- ① 名簿メンテナンス 企業会員の入社・退職情報を継続的に入手し、新規登録や個人会員への移行等名簿情報を整備します。行事参加、会費納入、テクノピア配布等の情報を一元管理できる名簿DBを支部活動のツールとして充実させます。
- ② 組織強化 支部活動への参加企業数を2社増の65社を目指して組織強化を図ります。また、企業幹事不在の企業へ幹事選出の働きかけを行っていきます。
- ③ 会報Technopia配布 企業幹事の支部活動参加の機会として、第72号、第73号の全体配布会を実施します。
- ④ 懇親パーティー券の販売 前年度同様の配布のほか、企業会員の同期生および同窓生や若手会員への声かけを実施し、220枚の販売を目標とします。また、チケットNo.管理を行います。
- ⑤ 改選役員の候補者選出 正副支部長による選考委員会を開き、改選する委員会の検討及び改選役員の候補者を選考します。

3. 事業委員会

角野事業委員長

- 活動方針 大学、企業、同窓生の絆を深める仕掛けを考案し、各事業への参加者増加と活性化に向けたネットワーク作りを進めます。また産学連携に結びつく事業を企画します。
- ① 支部総会講演会 あさのクリニック院長 浅野道雄先生を迎え、「確率・リスクから見た健康管理」について、ご講演いただきます。
- ② 支部総会パーティー 21世紀倶楽部で開催します。企業幹事を通して声かけし、参加者200名を目指します。20歳代の参加費を無料とし、若手(30歳以下)の参加者50名以上を目指します。
- ③ 佐鳴湖駅伝大会 浜松支部から3チーム(69名)以上の参加を目指します。
- ④ 交流会 若手会員や情報学部卒業の女性会員、工学部の学生も参加しやすい交流会を企画、開催します。
- ⑤ 支部新年会 1月に開催し、会員の親睦を深めます。60名の参加を目指します。

4. 広報委員会

西村広報委員長

- 活動方針 ホームページ(以下HP)の充実とTechnopiaの発行を通して支部活動の情報発信を進めます。
- ① 浜松支部Web事業 Web会員およびアクセス増を目指し、HPの情報の充実と画面、デザインの改良検討を進めます。正副支部長会ごとにHPを確認し、充実を図ります。
- ② 会報Technopia発行 浜松支部の定期情報発信ツールとして第72号、第73号を発行します。また、HPへの誘導を行いアクセス数の増加を目指します。
- ③ 広告掲載 契約の継続、及び新規獲得の活動を継続し、掲載広告主を2社増やし19社を目標とします。

5. 会費委員会

高橋会費委員長

- 活動方針 会費収入の増加の推進および会計収支を適正に処理、報告します。
- ① 会費徴収 前年度の会費納入実績に基づいて、会費納入額増加の対策を立案・実施し、会費収入の増加(前年以上)を目指します。
- ② 会計会務 収支予算および各委員会の事業計画にそって定期的に収支予測を行い、収入および支出を項目毎に精査、管理します。

第4号議案 平成29年度 予算(案) (平成29年4月1日~平成30年3月31日)

●収入の部

(単位：円)

項目	昨年度実績	予算額	増減	説明
支部年会費	2,081,210	2,100,000	18,790	1,500円×1,400人
支部交付金	1,175,725	620,000	-555,725	協賛金(浜松工業会・浜松科学技術研究振興会他)
パーティー券	1,049,000	1,040,000	-9,000	5,000円×200枚+2,000円×20枚
会報広告代	405,000	405,000	0	H P掲載広告料
預金利子他	2	200	198	銀行普通預金、郵便普通貯金
交流会会費	420,000	590,000	170,000	交流会会費、新年会会費
雑収入	0	0	0	
小計	5,130,937	4,755,200	-375,737	
前年度繰越金	4,949,941	5,621,712	671,771	
合計	10,080,878	10,376,912	296,034	

●支出の部

(単位：円)

項目	昨年度実績	予算額	増減	説明
総会費	1,234,931	1,250,000	15,069	総会、パーティー、記念講演他
テクノピア関係費	662,996	670,000	7,004	第72、73号の編集、印刷、運送
H P関係費	199,380	230,000	30,620	H P運用、サーバレンタル、WiFi他
委員会活動費	545,526	400,000	-145,526	各委員会の会議費他
会議費	397,610	400,000	2,390	役員会、正副支部長会、顧問会議
交流会費用	773,418	1,218,000	444,582	交流会、新年会他
通信費	12,507	13,000	493	会費納入依頼文の印刷、各種連絡
旅費・交通費	72,660	112,000	39,340	他支部総会、全学同窓会出席他
慶弔費	0	10,000	10,000	慶弔規定による支出
振込手数料	26,844	28,000	1,156	郵便振替料、送金手数料
雑費	214,007	214,000	-7	佐鳴掲載料、佐鳴駅伝賞金、事務用品他
備品購入費	319,287	10,000	-309,287	備品
予備費	0	100,000	100,000	調整費
小計	4,459,166	4,655,000	195,834	
次年度繰越金	5,621,712	5,721,912	100,200	
合計	10,080,878	10,376,912	296,034	

* 各科目間の流用は認めさせていただきます。

【名称及び所在地】

第1条 本会は、浜松工業会浜松支部（以下本会という）と称する。

第2条 本会は、連絡所を佐鳴会館内（浜松市城北3丁目5-1）に置く。

【目的及び事業】

第3条 本会は、会員相互の親睦と人格の向上を図ると共に、母校の隆昌と国内外の学術文化の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、次の事業を行う。

1. 会員名簿の作成。
2. 会員への情報提供。
3. 会報の発行。
4. その他、本会の目的達成に必要な事業。

【会員】

第5条 本会は、静岡県の大井川以西に在住または勤務する下記の会員により組織する。

1. 浜松高等工業学校、浜松工業専門学校、静岡大学工学部、静岡大学情報学部卒業生。
2. 静岡大学大学院工学研究科、静岡大学大学院電子科学研究科、静岡大学大学院理工学研究科、静岡大学大学院情報学研究科、静岡大学創造科学技術大学院修了生。
3. 第11臨時教員養成所、浜松臨時教員養成所卒業生。
4. 静岡大学工業短期大学卒業生。
5. 上記1～4項に準ずる者で、工業会本部において承認された者。

特別会員 前号各学校及び電子工学研究所に在職する、又は在職した教職員で、役員会において承認された者。

名誉会員 本会に対して特に功績のあった者で、役員会より推薦され、総会の承認を得た者。

賛助会員 本会の目的及び事業に賛同する個人または法人で、役員会において承認された者。

【役員】

第6条 本会に下記の役員を置く。

- | | | |
|------|-----|------------------------------------|
| 支部長 | 1名 | 本会を代表し、会務を総理する。 |
| 副支部長 | 5名 | 支部長を補佐し、支部長事故ある時は代行する。また、委員会を統括する。 |
| 監事 | 2名 | 会計の監査を行う。 |
| 幹事 | 若干名 | 一般会務に参画する。 |
| 常任幹事 | 若干名 | 常任幹事会に出席するなど、重要な会務に参画する。 |
| 顧問 | 若干名 | 顧問会議に出席するなど、重要な会務に参画する。 |
| 名誉顧問 | 若干名 | 支部長の相談役として本会に助言する。 |

第7条 支部長および副支部長は、会員中より、役員会の議を経て、総会において決定する。

第8条 監事、幹事、常任幹事、顧問及び名誉顧問は、支部長が役員会に諮り委嘱する。

但し、常任幹事は、副支部長の経験者及び支部長が必要と認めた者、顧問は、支部長経験者及び本会に対して特に功労のあった者、名誉顧問は、現職の工学部長、情報学部長、及び電子工学研究所長、工業会の理事長、財団の理事長及び専務理事とする。

第9条 役員任期は次の通りとする。

1. 役員任期は2年とし、再任を妨げない。
2. 役員に欠員が生じたときは、役員会に諮り補充することができる。
3. 補欠により選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。
4. 役員は任期満了後でも、後任者が就任するまで職務を行う。

【会議】

第10条 総会は、本会の最高議決機関であり、毎年1回開催する。但し、必要に応じて、臨時総会を開くことがある。

第11条 総会は、正会員及び名誉会員により構成する。支部長は、これを招集し、その議長となる。

第12条 総会の議案は、役員会の議を経て決定する。

第13条 正副支部長の選任のほか、下記の事項は、総会の決議を経なければならない。

1. 本会則変更に関する事。
2. 事業計画。
3. 予算及び決算。
4. 会費。
5. その他、役員会において必要と認めた事項。

第14条 役員会は、正、副支部長、監事、幹事、常任幹事、顧問及び名誉顧問により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

第15条 正副支部長会は、正、副支部長により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

第16条 常任幹事会は、正、副支部長及び常任幹事により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

第17条 顧問会議は、正、副支部長及び顧問により構成。必要に応じ、支部長がこれを招集し、その議長となる。

第18条 会議の決議は、出席者の過半数の賛否により定める。

【委員会】

第19条 本会に下記の委員会を置き、会務を執行する。

委員会は、各副支部長を委員長とするほか、前任の委員長を含む各若干名の副委員長をおくことができる。

副委員長は支部長より委嘱する。

1. 総務委員会
 - (1) 総会及びその他の会議開催に関する事項。
 - (2) 渉外に関する事項。
 - (3) UT相談室に関する事項。
 - (4) 結婚相談室に関する事項。
 - (5) 趣味の会に関する事項。
 - (6) 支部会則及び施行細則の改訂に関する事項。

2. 組織委員会
 - (1) 会員名簿の作成に関する事項。
 - (2) 企業幹事および学年幹事の選出に関する事項。
 - (3) 会報の配布に関する事項。
 - (4) 総会パーティ券の配布に関する事項。
3. 事業委員会
 - (1) 総会パーティ及び交流会の開催に関する事項。
 - (2) 総会講演会及びその他講演会の開催に関する事項。
 - (3) 母校との連携に関する事項。
 - (4) 産学連携に関する事項。
4. 広報委員会
 - (1) Webサイトの運営及び管理に関する事項。
 - (2) 会報発行に関する事項。
5. 会費委員会
 - (1) 会費徴収に関する事項。
 - (2) 会計会務に関する事項。

【会計】

第20条 本会の経費は、会費及び会務の広告料、寄付金及びその他の収入をもって支弁する。

第21条 正会員及び特別会員は、年度会費1,500円を納入する。

賛助会員の年度会費は、法人は一口30,000円、個人は3,000円とする。

第22条 会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

【慶弔見舞】

第23条 当支部に特に貢献のあった者を対象とし、支部長が決定する。

【付則】

本会則は、平成29年5月13日より施行する。

(注)	昭和24年11月3日	制定
	昭和31年1月22日	一部改正
	昭和42年6月10日	〃
	昭和55年8月23日	〃
	昭和57年6月26日	一部改正及び条文整理
	昭和58年5月28日	一部改正
	昭和60年4月1日	〃
	平成12年6月4日	〃
	平成18年5月20日	〃
	平成19年5月19日	〃
	平成20年5月17日	〃
	平成23年5月21日	一部追記
	平成25年5月18日	一部改正
	平成26年5月17日	一部改正及び追記
	平成29年5月13日	一部改正及び追記

施行細則

第1条 総会への招待者は、次の通りとする。

1. 工学部長
2. 情報学部長
3. 創造科学技術大学院長。
4. 電子工学研究所長。
5. グリーン科学技術研究所長。
6. 財団理事長及び専務理事。
7. 工業会会長、理事長、浜松支部以外の支部長。
8. その他支部長が必要と認めた者。

第2条 この細則は、役員会の議を経て変更できる。

【付則】 本細則は、平成29年5月13日より施行する。

(注)	平成12年6月4日	一部改正
	平成20年5月17日	〃
	平成25年5月18日	〃
	平成26年5月17日	一部改正及び追記
	平成29年5月13日	一部改正

第6号議案 役員交代について

	旧役員	新役員
支部長	井辺 博光 (47JC/49C/51MC) (自) 井辺技術士事務所	小林 孝一 (54E/56ME) ヤマハ (株)
副支部長 組織委員長	赤堀 伸二 (58D) 浜松ホトニクス (株)	安達 晴康 (96Z) 三栄ハイテックス (株)

平成 29 年度浜松支部役員

	平成 29 年度役員	
支部長	小林 孝一 (54E/56ME)	ヤマハ (株)
副支部長 総務委員長	藤田 俊幸 (52C)	日星電気 (株)
副支部長 組織委員長	安達 晴康 (96Z)	三栄ハイテックス (株)
副支部長 事業委員長	角野 卓 (2001MM)	スズキ (株)
副支部長 広報委員長	西村 裕介 (60D)	NECプラットフォームズ (株)
副支部長 会費委員長	高橋 優介 (61K/63MK)	中部ガス (株)



記念講演会

16:00 ～ 17:40

プレスタワー 17階 静岡新聞ホール

記念
講演会

「確率・リスクからみた健康管理」～私たちにできること～

あさのクリニック 院長 浅野道雄氏



懇親パーティー

18:00 ～ 20:00

プレスタワー 7階 静岡新聞ミーティングルーム



浜松工業会愛唱歌 「友よ友」

相川 覚 作詞

遠藤節子 作曲

あつき望みに この胸を そめしはぎはら ひくまのに 平成のみよ 秋たけて かがやく歴史 たたえんと つどいて祝え 友よ友
 (2.) うだけの酒にふと 浮かぶ 戦火にちりし 白ばらの かおりほのかに 逝きし友 残るおもかげ しみじみと つどいてしのべ 友よ友
 さなる まいさか がんすいじ 汗と涙を 流しつつ 肩くみ合いて 舞い踊る 若き息吹の なつかしく つどいて歌え 友よ友
 時の流れに 名もかわる されど心の ふるさとは 自由 啓発 創造の とわに変わらぬ 我が母校 つどいて誇れ 友よ友

1. あつき望みに この胸を
 そめしはぎはら ひくまのに
 平成のみよ 秋たけて
 かがやく歴史 たたえんと
 つどいて祝え 友よ友

3. さなる まいさか がんすいじ
 汗と涙を 流しつつ
 肩くみ合いて 舞い踊る
 若き息吹の なつかしく
 つどいて歌え 友よ友

2. うだけの酒にふと 浮かぶ
 戦火にちりし 白ばらの
 かおりほのかに 逝きし友
 残るおもかげ しみじみと
 つどいてしのべ 友よ友

4. 時の流れに 名もかわる
 されど心の ふるさとは
 自由 啓発 創造の
 とわに変わらぬ 我が母校
 つどいて誇れ 友よ友

静岡大学生歌 「われら若人」

高嶋善二 作詞

石井 歆 作曲

Allegretto 軽快に
歯切れよく

1. おきにながれるながれるくろしお
8 やふじのたかねのそれよりもそれよりも
15 もふかくけだかくたくましくわれらみら
24 いをめざすわこーどのわれ
31 らわれらわれらはしずおかだいがくわれ
35 われらわれら
39 らわれらわれらわれらわれらわれらは
われらわれらわれらわれらはわこーどど

1. 沖に流れる(流れる)黒潮や
富士の高嶺のそれよりも(それよりも)
深く 気高く たくましく
われら未来をめざす若人の

われら われら
われらは静岡大学
われら われら われら(われら)
われらは(われらは)若人

2. 岡にただよう(ただよう)茶の香り
みかんの花のそれよりも(それよりも)
若く 清く すこやかに
われら 文化を荷なう 仲間たち

3. 潮満ちくる(満ちくる)浜名湖や
三保の浜辺のそれよりも(それよりも)
青く 広く 美しく
われら 真理をもとむ 青年の